

# 第 146 回 列強のアフリカ分割②

## 1 フランスのアフリカ進出

・フランスは、1830年に（ ）に出兵し、後に占領していた。  
→1881年には、（ ）を保護国とし、サハラ砂漠を抑えていった。

・1890年、フランスは、西アフリカの（ ）の大部分を占領した。  
→サモリ=トゥーレはサモリ帝国を建国し、フランスに対して抵抗運動を行った。

・またフランスは、アフリカ南東の島（ ）、東岸の（ ）を植民地とした。

→このように北・西・東アフリカに進出したフランスは、アフリカを西から東へ結ぶ（ ）を展開した。

→1898年、縦断政策を展開していた（ ）と、スーダンで衝突した。  
※これを（ ）という。

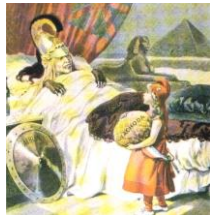
→フランスが譲歩してスーダンから撤退し、1904年、（ ）が結ばれた。

→イギリスがエジプト、フランスがモロッコを優先的に支配することを認めあった。



サモリ=トゥーレ

サモリ帝国というイスラーム教国を建国して、フランスに対抗した。孫の時代についてフランスから独立。現在でもギニアの英雄である。



ファショダ事件の風刺画

赤ずきんのパロディ。「ファショダ」というお菓子を持った少女(仏)を、ベッドの狼(英)が狙っている。窓から見えるものにも注目。



英仏協商の風刺画

紳士(英)と淑女(仏)が腕を組み、ヒゲに特徴のある軍服の男性(独)に背を向けている。第一次大戦につながる国際関係である。

## 2 ドイツのアフリカ進出

・ドイツは統一が遅れたため、アフリカへの進出も遅れてしまった。  
→1880年代から進出をはじめたが、重要な場所は獲得できなかった。

・1884年、西アフリカの（ ）に進出し、1902年に植民地とした。

・1885年、東アフリカ(タンザニア・ルワンダなど)・南西アフリカ(ナミビア)にも植民地を建設した。

→ドイツへの抵抗運動としてマジ=マジの蜂起が起こった。

・1905年、（ ）が起こった。

→（ ）が開かれ、ドイツが譲歩した。

・1911年、（ ）が起こった。

→結局1912年、フランスがモロッコを保護国としてしまった。



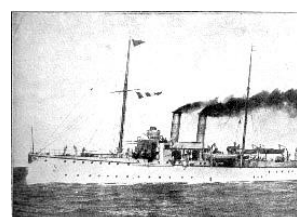
タンジール訪問

最初モロッコ事件は、ドイツ皇帝ヴィルヘルム2世が突如モロッコの港町タンジールを訪問したことから起こった。



アルヘシラス国際会議

この会議でイギリスはフランスを支持したため、ドイツは譲歩せざるを得なくなった。英仏協商の後というのがポイント。



ドイツ軍艦パンター

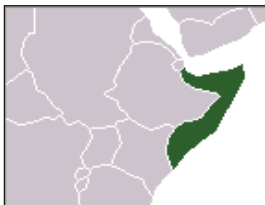
2度目のモロッコ事件は、ドイツ軍艦がモロッコのアガディールに入港したことから起こった。こちらもドイツが譲歩した。

### 3 イタリア・ポルトガルのアフリカ進出

- ・イタリアも統一が遅れたために、アフリカへの進出が遅れていた。
- ・またポルトガルは、大航海時代に植民地とした地域の占領を続けていた。

<イタリア>

- ・フランスやイギリスとともに、アフリカ東海岸の（ ）を占領した。  
※「アフリカの角」と呼ばれる地域で、現在のソマリアなどを含む。
- ・1885年、アフリカの紅海沿岸の（ ）を占領した。  
→さらに1895年、（ ）へ侵攻したが、アドワの戦いで敗れた。
- ・1911年、北アフリカへの進出をはかり、オスマン帝国と戦争になった。  
※この戦争を（ ）という。  
→イタリアが勝利し、（ ）と（ ）を占領した。  
→両地域を合わせて（ ）とし、1912年に併合した。  
→イスラーム神秘主義のサヌーシー教団がイタリアの進出に抵抗した。



アフリカの角

この地域が「アフリカの角」と呼ばれる理由は、地図を見ればすぐにわかる。なお塗りつぶされているのは、現在のソマリアの位置。



イタリア＝トルコ戦争



この戦争では、第一次世界大戦に先駆けて、飛行船による爆撃が行われている。オスマン軍も善戦したが、バルカン戦争の勃発によって和平せざるを得なくなった。

<ポルトガル>

- ・現在のモザンビーク・（ ）・ギニアビサウの地域を植民地としていた。

### 4 独立を維持した国

- ・アフリカのほとんどがヨーロッパ列強の植民地とされる中で、独立を維持したのは（ ）と（ ）の2国だけであった。

☆エチオピア帝国（1世紀～1936／1941～1974年帝政廃止）

◆メネリク2世（在位1889～1913年）

- ・1896年、侵入してきたイタリアを（ ）で破ることに成功した。

☆リベリア共和国（1847～2023年現在）

- ・1822年以降、アメリカ北部で解放された黒人奴隷が、アメリカ植民協会によってアフリカに帰還して1847年に建国した。



メネリク2世

エチオピアを再統一し、近代化政策を推進した。好物は聖書で、病気になるたびに食べていたらしい。



リベリアの国旗

ある国の国旗にそっくりだが、それはリベリアという国が建国された事情に由来している。現在は破綻国家となっている。



アメリカ大統領モンロー

久しぶりの登場です。リベリアの首都モンロビアの名前は、アフリカへの帰還を始めた時の大統領がモンローだったことにちなむ。